

mageba KM ジョイント

部分補修でLCC低減

川金コアテックが製造する橋梁用伸縮装置mageba KM ジョイントのメンテナンス工事は、整備局の仙台東部道路に



路面止水ゴムの取替え



下面機構部品の取替え

おける東日本大震災に伴う復旧工事を皮切りに、高速道路会社、国交省、地方自治体などで実績を重ねてきた。

一般的な伸縮装置はメンテナンスが困難で、周辺コンクリートも含めた本体の全交換が主流となっている。mageba KM ジョイントは、劣化や損傷が激しい場合や、遊間が狭いケースを除き、止水ゴムの劣化による漏水をゴム交換のみで修繕できる。

また、ボルト締結構造のため、損傷部品のみの交換も可能である。これらにより橋梁全体の長寿命化が可能だ。

供用開始から15年以上が経過した未補修のma

geba KM ジョイントは全国で約500本現存している。軽微な損傷状態でのメンテナンスはライフサイクルコスト低減につながり、新設時と同等の機能回復を図ることができ。また、損傷箇所によっては道路規制が発生しないことも特長の一つである。

メンテナンス工事を担当するノカガセの深田勝誠エンジニアリング課長は「高速道路会社各社にはメンテナンス方法が浸透し、点検、工事が実施されている。今後は国交省や地方自治体へ働きかけ、橋梁の維持管理に貢献していきたい」と話す。